県外先進地事例研修

県内市町村景観行政担当者を対象に景観地区の指定及び運用、また景観協議会設立に関する先進地について現地研修を行い、景観行政担当者の風景づくりに係るスキルの向上を図りました。

宮城県仙台市

●実 施 日／令和6年11月6日(水)7日(木)

●研修内容

仙台市の担当者から、仙台市の景観まちづくりの取組について説明を受けたあと、仙台城跡からの眺望や定禅寺通り、荒浜地区を視察しました。都市内部における段階的な変化に伴う高さ制限や、緩和高さの条件として求められる緑地や公共的空間の確保、景観地区や地区計画、広告物モデル地区、誘導指針、景観まちづくり協議会の取組について、具体的な説明を受けました。また、荒浜地区では、震災で失われた海岸のみどりを市民と協働で再生するプロジェクト、防災集団移転跡地の利活用、震災遺構について説明を受け、防災・環境と景観まちづくりの関係について学ぶ貴重な機会となりました。

仙台城跡からの眺望(都市部)

定禅寺通のケヤキ並木と歩行者専用通路

外壁の素材はケヤキ並木と調和するものを使用

管理者が異なる道路付属物を街路灯に集約

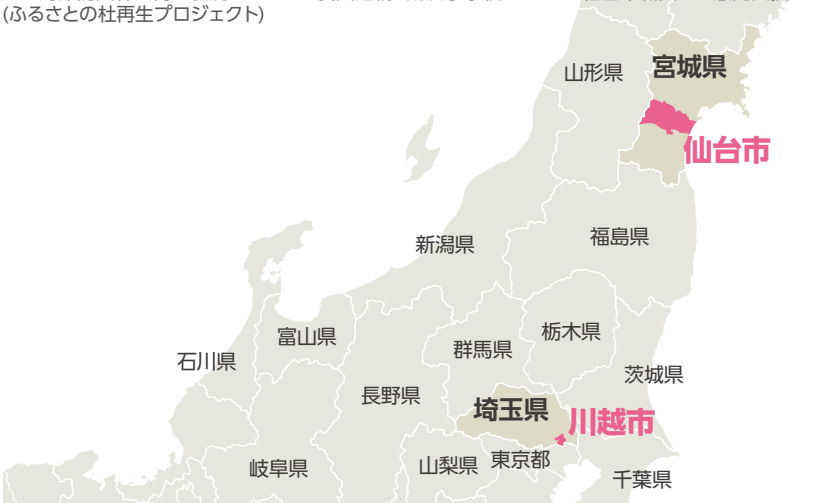
広告モデル地区のシンプルな広告物

エリアマネジメント広告(街路灯を活用した広告幕)

海岸防災林の再生状況(ふるさとの杜再生プロジェクト)

震災遺構・荒浜小学校

仙台市職員との意見交換



埼玉県川越市

●実 施 日／令和6年11月8日(金)

●研修内容

川越市の担当者の案内で、川越十ヵ町地区を中心に、都市景観形成地域(重伝建地区を含む)及び歴史的風致維持向上地区重点地区を視察しました。古い町並みが残る十ヵ町地区では、景観を守るためのルールや事前協議組織「川越町並み委員会」の設置、江戸時代の町割り・蔵造りといった伝統的な建築様式について説明を受けました。また、補助制度を活用した建物の改修・新築の事例や、電線地中化の取組についても学びました。歴史的風致の維持向上のため、文化財保護法や景観法などの制度を活用し歴史的景観整備に取り組むと共に、「NPO法人川越蔵の会」や住民、事業者、行政が協働することで、多くの観光客が訪れる人気のスポットとなり、地域の活性化にも成功しています。

川越一番街商店街(伝統的建造物群保存地区)

川越市のランドマーク「時の鐘」

「小江戸」川越の街並みに調和するコーヒー店

大正浪漫通りに残る住宅(景観重要建造物)

文化創造インキュベーション施設(文化財の保存と活用)

川越市職員との意見交換